

活動報告

■ 里山再生 よりみち大学 第2回講座「雪」

よりみち街道『中越』クラブ

(2009. 02. 10)



2月7日（土）～8日（日）、新潟県川口町の旧田麦山小学校を主会場に、田麦山地区の皆さんに多大なご協力をいただき、第2回講座「雪」を実施しました。

【1日目】

長岡技術科学大学「悠久太鼓 鶴亀会」の新春祝太鼓の演奏で、第2回講座が幕を開けました。

《イグルーづくり》

石本敬志先生（日本気象協会、理学博士）、今井晋先生（マウンテンガイドイマイ）を講師に迎えて、雪に対する備えや雪の強度などを学びながらイグルーを作りました。

今年は例年に無い小雪ですが、皆さん力を合わせて素晴らしいイグルーが出来上がりました。今井先生も「この雪で、このような大きなイグルーができるのは素晴らしい」とおっしゃっていました。

《交流会》

夕方からは「いきいき田麦山」の方々が作った巨大かまくらの中で交流会。地元で作ったお餅などを囲みながら、皆さん交流を深めていただきました。

夜は、地元の方々のお宅でホームステイ（民泊）。それぞれのお宅で、思い出深い一晩を過ごされたようです。

【2日目】

《新潟銘醸 酒蔵見学》

「越の寒中梅」「長者盛」などでお馴染みの新潟銘醸さんの酒蔵を見学させていただきました。中越地震被災時の生々しいお話、お酒に対するこだわり等を熱心にお話いただきました。ホームステイ先で飲んだお酒が残っていて、お酒を前にしても元気が出ない参加者もいたようです。

《雪蔵の里 雪蔵見学》

雪蔵は、一年を通して雪で覆っておく貯蔵庫（雪中貯蔵庫）。常に摂氏0度前後に保たれており、そこで貯蔵されたにんじんやじゃがいもなどは、とても甘みが増します。また、地元の山本山で栽培された蕎麦店もあり、そこでおいしいお蕎麦をいただきました。

参加者の皆さまからは、「第2の故郷ができたような気分」「地元の方々の暖かいおもてなしが心に残った」などという感想をいただきました。

雪と遊び、利雪の技術を学び、地元の方々、参加者との交流を深めることができた、思い出の多い2日間になったのではないのでしょうか。

次回講座につきましては、現在企画検討中です。企画が決定しましたら、改めて情報発信させていただきますので、多くの方のご参加をお待ちしています。